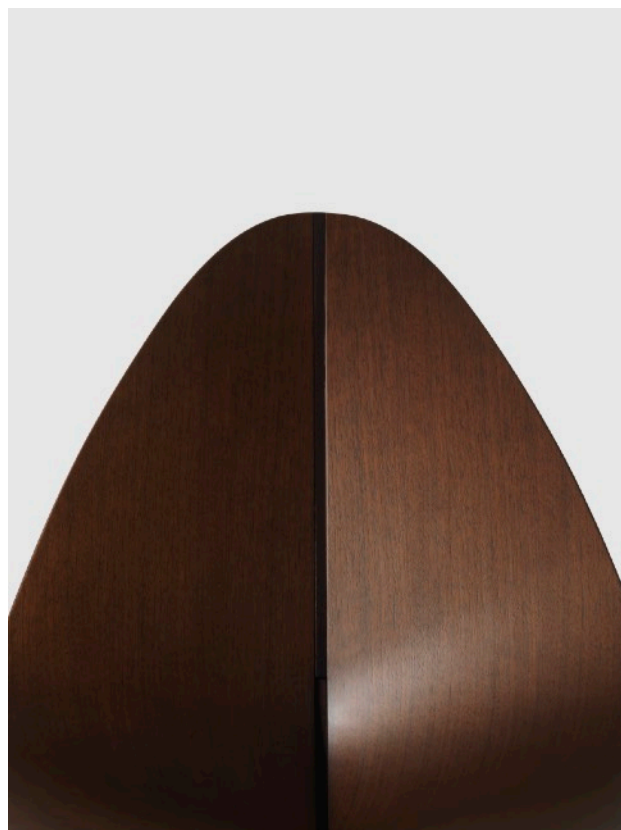
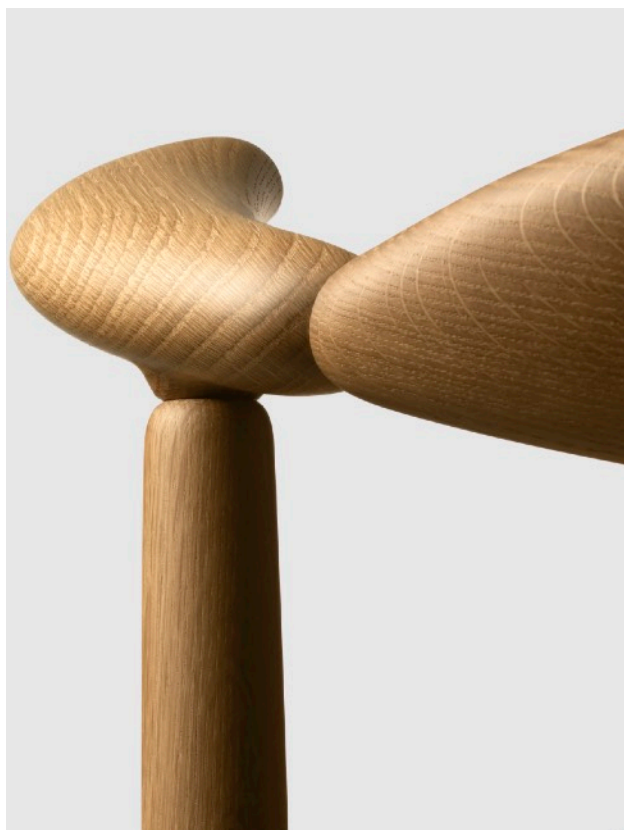


# KOYORI

PRESS RELEASE

2021. 11. 18

日本のモノづくりの力を結集させた全く新しいグローバルアライアンスブランドが誕生  
2022年2月ストックホルムで世界初お披露目



Photography: HIROSHI IWASAKI

日本の美意識を持つ洗練されたインテリアライフスタイルブランド、KOYORIが誕生します。  
世界的デザイナー、ロナン&エルワン・ブルレック（Ronan & Erwan Bouroullec）とガムフラテーシ  
（GamFratesi）がデザインしたアイテムを携え、2022年2月、ストックホルムファニチャーフェアで世界初  
お披露目いたします。

KOYORIは日本全国の優れたモノづくりを行う企業とそのモノづくりを世界に伝える力を持つ企業がアライ  
アンスを組むとともに、卓越した日本の製造技術と国際的なコンテンポラリーデザイナーが協働すること  
により、絶対的な信頼性のある品質を備えたボーダレスなデザインの家具とインテリアアクセサリを提供す  
ることを目指したブランドです。

日本生まれの商品の美学を信じるKOYORIは、Made in Japanに拘ります。モノに宿るシンプルで繊細な美  
しさ、各商品の背後にある職人の技に対するひたむきさ、情熱、献身的な精神や、商品を唯一無二の作品に  
する完璧主義性、勤勉さ、配慮を世界中に伝えたい、そんな想いをKOYORIは持っています。

日本語の「紙漙（こより）」から取ったブランド名のKOYORI。紙漙は古くから日本でのお祝い事に欠かせない水引の素材であり、ブランド名には結びつきの意味も込められています。

グローバルブランドとして、サステナブルであることもKOYORIは目指しています。日本の職人技の美しさ、創造性、真正さを継承し、それを国際市場に伝えていくため永く使っていただける商品を創り続けることに加えて、私たちは生産と配送のプロセスが持続可能であることを保証し、透明性の文化を持つリーディングブランドになります。最初のステップとして、カーボンフットプリントの透明性を確立するために、商品によって生成されたカーボンフットプリントを測定し、その結果をWebサイトに公開します。次のステップ以降も、製品ライフサイクル全体で二酸化炭素排出量を削減するために毎年新たな課題を立て、解決に向けて継続的に取り組み、一歩ずつ進んでいきます。

KOYORIは日常において新しい価値を志向する未来を築くデザインであると同時に、日本のモノづくりの歴史と審美性を宿すプロダクトを世界に向けて普及し続けることを目指しています。

私たちの商品を何年も何世代にもわたって大切にしたいと思っていただけること、商品をお使いになることがライフスタイルに幸せをもたらすものであることを願っています。

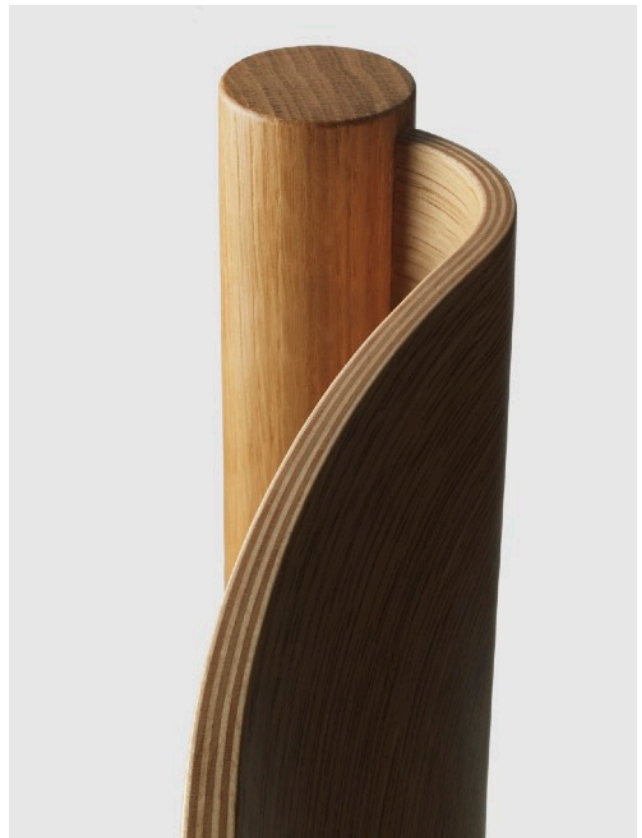
グローバルローンは2022年2月8日にストックホルムファニチャーフェアの会場で行われます。

ストックホルムファニチャーフェア（Stockholm Furniture & Light Fair）は、世界30ヶ国以上、700社以上が出展し40,000人以上が訪れる、北欧最大級の世界的な家具見本市です。

プレス関連のお問い合わせは丸山 (press@koyori-jp.com) までご連絡ください。

Teaser Website: [www.koyori-jp.com](http://www.koyori-jp.com)

Official Instagram: [official\\_koyori](https://www.instagram.com/official_koyori)



## DESIGNERS

---

### Ronan & Erwan Bouroullec (ロナン&エルワン・ブルレック)



1971年と1976年にそれぞれカンペール（ブルターニュ）で生まれたフランス人デザイナー、ロナンとエルワン・ブルレックは、1999年から協働しています。

工業デザインから工芸品、大規模な生産開発から研究、オブジェクトから公共スペースまで、ロナンとエルワンの作品は複数の表現分野にまたがり、私たちの日常生活に取り入れられています。

Photography: Alexandre Tabaste

### GamFratesi (ガムフラテーシ)



ガムフラテーシスタジオは、デンマークの建築家スティーネ・ガム（Stine Gam）とイタリアの建築エンリコ・フラテーシ（Enrico Fratesi）によって2006年に設立されました。スタジオはコペンハーゲンを拠点としています。ガムフラテーシのデザインは、伝統とリニューアルの融合から、素材と技術への実験的なアプローチで創造力を発揮します。

Photography: Petra Kleisz